

## 2015年度(平成27年度)学校評価自己評価表

中央中学校区	校番 16	福山市立中央中学校
--------	-------	-----------

### I 福山市 めざす子ども像

福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子ども

### II 中学校区

#### 1 めざす子ども像

「ふるさとを愛し 地域の絆の中で 伸びやかにたくましく成長する子ども」

#### 2 児童生徒の現状

中央中学校区では、校区を統一する共通テーマ「共創」を定め取り組んでいるが、東小学校、桜丘小学校、西深津小学校とも、それぞれ地域性と特色がある。

学力面では、「基礎・基本」定着状況調査において県平均を上回る学校がある反面、県平均に到達していない学校もある。そこで、研究教科として東小学校が体育、桜丘小学校と西深津小学校が算数、中央中学校がことばの教育に取り組んでいる。

生活面では、基本的生活習慣の確立に課題がみられる児童生徒がいるため、生活習慣や学習習慣の充実、小中一貫して取り組んでいる。

近年、校区内の小中学校は全体的に落ち着いており、中学校入学後も、部活動や生徒会活動など充実した学校生活を送っている。中学校の保護者アンケートでは93.2%の保護者が中学校の教育に満足していると回答している。

不登校や問題行動は、生徒指導主事や相談員が小中連携して取り組むことで効果が表れている。

#### 3 課題

- 学校によっては、学力が県平均より低い教科があり、学力向上に向け、学校と家庭の両面から学習習慣を定着させ、小中一貫して、主体的に学ぶ意欲を向上させる必要がある。
- 不登校や問題行動を起こす児童生徒には複雑な要因があり、自己肯定感を高める取組や小中一貫した個別指導の充実と、家庭や関係機関との綿密な連携が必要である。

### III 自校

#### 1 学校教育目標

一人一人が 生きる力を育み 輝ける教育の推進

#### 2 経営理念

##### (1) 中学校区における自校の使命(ミッション)

地域や保護者の信頼に応え、地域住民から愛される学校を創造する。

### (2) 使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像(ビジョン)

地域の小学生が、希望と憧れをもって入学し、全ての生徒が「中央中学校で学んでよかった」と誇りを持って卒業できる学校。

### 3 前年度重点目標と達成状況

前年度重点目標	達成状況
①基礎基本の定着と学力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 県調査の理科のみが県平均を越えた。(2年)</li> <li>• 家庭学習 60 分以上の達成率が 70%。計画しての学習は 60%で、主体的に学習する意欲を向上させる必要がある。</li> </ul>
②部活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 部活動参加率は 85%、ボランティア参加率 73%で、部活動集会等を実施し、意識啓発を行う。</li> </ul>

### 4 本年度重点目標と設定理由

重点目標	設定理由
①「知・徳・体」のバランスのとれた基礎基本の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 生徒がこれからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成のために、各種学力調査等の結果を分析し、指導方法の改善に活用する必要がある。</li> </ul>
②部活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 体力や技能の向上だけでなく、コミュニケーション力をより高めることができる。学校美化等のボランティア活動に関わることで、学校の諸活動への参画意識をより高めることができる。</li> </ul>

### 5 前年度の学校関係者評価結果を踏まえた改善点

- 重点目標達成のために、数値目標をよりわかりやすいものにした。

### ※ 評価基準

評価・指標評価	基 準	
	基	準
A・a	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた
B・b	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた
C・c	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた
D・d	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった
E・e	40%未満の達成度	目標を達成できなかった

自己評価(中間)の基準は、10月20日までの計画に対する達成状況とする。

## IV 目標・評価項目・指標等の設定と評価

市重点 目標	年 目	中期経営目標	重 点	分類	短期経営目標	(最終 評価)	評価項目・指標等 (△成果 ▽取組 に着目)	(最終 指標 評価)	□ 評価項目・指標等 ○ 短期(中期)経営目標 の達成状況 ◎ 改善方策
確かな 学力	2	全国及び広島県の 学力調査で県平均 以上を6/8教科 以上にする。	★	継続	全国及び広島県の学力調 査で県平均以上を4/8 教科以上にする。	A	△家庭学習を毎日60分以上する。 ＜指標＞生徒アンケート80%以上	b	□1年82.0%、2年71.7%、3年82.5%、全体78.7% ○2年「基礎・基本」4/4教科、3年「全国」0/4教科 ◎来年度に向けて、基礎定着のためのドリル学習や家庭学習を仕組む。
							▽改善ポイントを明確にした授業づくりをする。 ＜指標＞教職員の授業改善に係る自己目標達成 度を3.6以上にする。	b	□自己申告書(最終申告)での達成率 3.1 ◎単元内で、活用を取り入れた授業を継続して仕組むとともに、 予習に繋がる宿題を設定する。
豊かな 心	1	ボランティア活動 に進んで参加する 生徒を90%以上 にする。	★	新規	部活動やボランティア活 動に進んで参加する生徒 を80%以上にする。	B	▽部活動に積極的に参加する。 ＜指標＞生徒アンケート80%以上	a	□83.2%(6月)→83.3%(11月) ◎定期的に部活集会を行い、積極的に参加を促す。また、各顧問 が指導につけるように放課後の会議等を工夫する。
							▽ボランティア活動に、1回以上参加する。 ＜指標＞参加率80%以上	b	□生徒アンケート(11月)77.8% ○71.2%(6月)→77.8%(11月) ◎3小学校との連携を密にし、地域清掃や公園掃除を継続する。
健やかな 体	1	新体力テストで県 平均以上の種目を 60%(28/48) 以上にする。		新規	新体力テストで県平均 以上の種目を25% (12/48)以上にする。	A	△食育に関する啓発活動を行い、食生活への関心 度を向上させる。 ＜指標＞朝食の喫食率92%以上	b	□1年92.1%、2年93.8%、3年85.0%、全体90.3% ◎朝食の重要性を含め、食育や健康安全に関する情報を通信等で 発信する。
							△昨年度の新体力テスト重点課題を改善する。 ＜指標＞男子「上体起こし」0/3より改善 女子「長座体前屈」1/3より改善	c	□男子「上体起こし」1/3、女子「長座体前屈」0/3 ○県平均以上12/48種目 ◎体育、部活動で重点課題に係る運動を積極的に取り入れる。
力量ある 教職員	3	中央中へ行くのが 楽しいと思う生徒 を95%以上にする。		継続	中央中へ行くのが楽しい と思う生徒を、95%以上 にする。	B	△教師としての力量を向上するため、主体的に研 修に参加する。 ＜指標＞3回以上の参加者80%以上	a	□81.3%(教職員アンケート) ◎授業づくり研修等への積極的参加を研究主任が中心となって 進める。
							▽部活動の意義を理解し、礼儀やマナーなど生徒 を育てる指導を行う。 ＜指標＞アンケートで80%以上	a	□93.8%(教職員アンケート) ○1年83.0%、2年84.1%、3年73.8%、全体80.3% ◎礼儀やマナーについて、授業や部活等で継続して指導を行う。
信頼される 学校	3	中央中学校へ通わ せて良かったと思 う保護者を95% 以上にする。		継続	中央中学校へ通わせて良 かったと思う保護者を 95%以上にする。	B	▽学校通信や学年通信により教育方針や内容を 伝える。学校HPを有効に活用する。 ＜指標＞年50号以上の発行、月一回の更新	a	□短信15号、学年通信35号(1年11,2年12,3年12)発行 学校HP2回以上/月の更新と特色ある教育の紹介/ナー作成 ◎タイムリーな学校情報や活動がよくわかる通信を作成する。
							△生徒・保護者、教職員アンケートを実施し、本 校教育活動の質を向上させる。 ＜指標＞年5回以上アンケートを行う。	b	□生徒7回、保護者4回、教職員5回 実施 ○92.9%(保護者アンケート) ◎調査結果を適宜公開し集めた情報を基に教育活動を展開する。